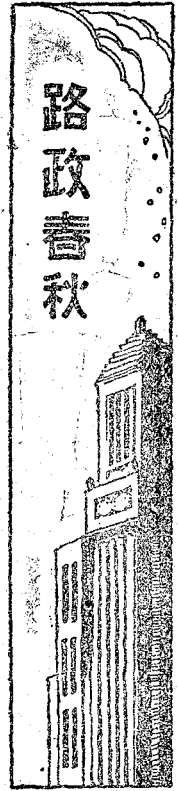


路政春秋



注

本欄は讀者諸君の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に及らざる限り奇想天外的の寄稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯部に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

交通道德の徹底化は

文化生活の基準

交通道德の紊亂は新體制と矛盾する現象である舊臘から一月六日迄愛知縣警察部では廻覽板や組内や職場常會等に依つて交通道德十訓の周知徹底化を企てた其の效果あらんことを望む即ち其十訓は

- 一、道路は必ず左側を通りませう
- 二、交通信號はよく守りませう
- 三、道路の横斷には左右に氣を付けませう
- 四、路上作業や路上遊戯を止めませう
- 五、區分通行（人は歩道車は車道を通行すること）に従ひませう

六、汽車や電車や自動車の直前直後の横斷は止めませう

七、汽車や電車やバスの乗り降りは一列に順序よく飛降り止めませう

八、踏切では一旦止つて安全な事を確かしてから通りませう

九、幼児の獨り遊びをさせぬ様に致しませう

十、電車やバスの乗降口を塞がず傷痕軍人老幼婦女子には席を譲りませう

之れも一讀の價値

あらん

鐵箒に統制法規に關し左の如き一文かかげられてあつたり相ついで出る統制法規は

みな眞にその必要があつて發布されるものであらう。われ／＼國民は國家の現狀に鑑み欣然之等の法規に服する覺悟のあるべきはこゝに贅するまでもない。しかしながらその法文は相當に煩瑣にして難解なる字句も尠からず、筆者の如く半生を法律の研究に送つた者に取つても二讀三讀、尙不明の箇所を殘すのである。況んや法規に疎き一般民衆には定めし疑義百出、歸趨に迷ひ、不安の念に驅らるゝものあることは想像に難くない。凡そ法規は、依らしむべきであるとして、先づ能く知らしめねばならぬこの故にこそ當局は、統制法規公布と共にラヂオを通し講演をなすのであらう。當局においては統制法規制定の際、其の各法條

に關する各種の具體的事例についても種々御協議があつたであらう。その中で、せめて疑ひのない結論を得られたものだけでも立法者の意思として發表されては如何。これを文書として當局の法令解説書を作成し法規の公布と同時に一般民衆が容易に、且つ低費で之を入手出来るやうに願へれば便利此の上ないかと考へる。

◇我々は之に依つて當局の眞意をハッキリと認識し、且之をよすがとして類似の場合に推し及ぼして考へ、正しい理解を以て、安んじて法規に服することが出来ると思ふ。徒らに法の解釋に惑ひ萎靡沈滞するは、統制逸脱と同じく共に當局の意にも背き、國家に忠なる所以でない。と正に一讀の價値あらん。

人間愛護

全體主義の徹底化、公益優先の強調化は人間愛護を没却するに至らざるなきかと私に疑念を懐く者あるやに聞く決して然る

にあらず、結城哀草果と稱する人の一文を見ると、現今の世を見るに、私を守りて他を顧みぬの徒多し。一例を擧ぐれば、或學校の校長が、上司と社會の眼を恐れるのあまり、生徒の犯した些少の過を責めて、容易に退學せしめたるが如きことなり。かくして自己の責任と體面をつくるひ得るものとして、平然たるに至つては教育の末世も甚だし。かかる事實は世上各方面に少からず。自己の一身を捨て、一生徒を守り導く校長なきや、かゝる人士こそ眞の教育者なり。筆者は世に眞の教育者無しといふにあらずして、たま／＼見うける非教育者を歎くのである。

誰も知るところに現在は物資愛護の大切な時代に於けるが、より人間を愛護すべき時代ではなきか。一種の維新的氣持から輕々と人間を處罰すること等をせず、互に是正し合ひ、上下が信と愛の和をもつて、國家の難局を打破すべきである。善哉善哉。

新の一字果して舊の一字を壓倒するか

上司小劍は言ふ、「新體制」といふ一つの言葉……といふよりもむしろ有りがたいお題目……といふのが適當らしい熟語ができてから、國民の渴仰は翕然としてこれに集り、何事も「新體制」でなければ、夜も明けず日も暮れぬ、といふ形になつた。まことにおそろしい「新」の字の魅力である。「新」の字は大抵「舊」の字を壓倒した形で用ひられる。ただ新米（新參未熟を意味する場合）新刀等にいきゝか品質の劣るのを示すばかりである。若しそれ新曆に至つては實施以來七十年、まだ「新」の字が離脱し得ないで、太陽曆は全く太陽曆の殘光を消滅させることができない。科學の上からは劣つてゐても、一月を新春とする國民の信念から、四季の變化を舊曆において多く感得し、且つ月輪の盈虧によつてこれを刺戟されるためであらう。とよくも論ずるものか。